

1月22日(土) ICT活用授業について

1年生 国語科「たのしいな、ことばあそび」 Google スライド、Google フォーム 活用

目標：身近なことを表す句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる

重点：本授業では、「認め合う、学び合う集団の形成」に重点を置いた。スライドを使用し、個別に作成した問題を全員で共有できるようにした。作成した問題を解き合い、友達の作った問題のよかった点に気付けるようにしたい。

2年生 算数科「1000より大きい数を調べよう」 インターネット、Jam board、chromebook カメラ 活用

目標：整数について興味をもって調べ、それらが「数量の大小を表すもの」と「分類整理するもの」に分類することができる。

重点：本授業では、jamboardを活用して、身の回りにある整数について「観点をもって分類する」ことに重点を置いた。その分類の仕方について共有、発信するという活動を取り入れることで、思考力・判断力・表現力をより深められると考えた。

3年生 国語科「わたしたちの学校じまん」 Google スライド 活用

目標：学校の良いところを紹介する発表を行うための効果的な資料を作ることができる。

重点：本時では「ICT機器の活用」に重点をおいた。伝えたいことを、理由を挙げて話すにあたり、聞いて消えてしまう言語活動にならないよう、視覚に残るプレゼン資料を用意することによって、より効果的な発表ができるようにする。

4年生 算数科「面積のはかり方と表し方」 デジタル教科書、ナビマ 活用

使用するアプリケーション等：

目標：既習の面積を求める学習を活用して、L字型の複合図形の面積の求め方を様々な方法で考え、説明することができる。

重点：本授業では、「発問の工夫」に重点を置いた。導入で四角形と複合図形を提示し、比較しながら既習事項を確かめ、更に面積の求め方を考えさせる。全体共有機能を使って様々な考えを比較・分類しながら、それらの良さに気付けるように問いかけていく。

5年生 総合的な学習の時間「サステナブル(持続可能)なものづくりについて学ぼう」 Jamboard、Google フォーム 活用

目標：体験を通して、(SDGsにも関連する)環境に優しいものづくりについての知識を蓄えたり、生産に関わる人々の努力や仕事に対する意識を学んだりし、未来に持続させるものづくりについて自分なりの考えをもつことができる。

重点：本授業では、「発問の工夫」に重点を置いた。SDGsについて知っていることなどを表出させたり、「未来につながる持続可能なものづくり」についての発問をしたりすることで、学習のつながりや企業努力、様々な人の工夫を感じさせる。

6年生 社会科「長く続いた戦争と暮らし」 ドキュメント、クラスルーム 活用

目標：戦争の歴史を学び、その時代人々がどのような暮らしをしていたのかについて考えをもつ

重点：教科書や資料集の資料を一部抜粋したものを提示することで、資料を読み取ることや事実から考えることを促し、思考力を育成する。

あおば学級 国語科「理由をつけて話そう」(4年・6年) ジャムボード 活用

目標：・自分の考えたことについて理由を入れて話すことができる。 ・友達の意見を聞くことができる。

重点：本授業は、「ICT機器の活用」に重点を置いた。付箋を利用することで言葉をすぐに思いつかない児童もアイデアを書き込みやすくなる。また、同時に互いの書いたものが共有できる。友達の意見と比べ、グループで学習していることの良さも感じさせたい。

あおば学級 国語科「めざせ！タイピングマスター」(1年・5年) クラスルーム、FMVキッズ 活用

目標：・ローマ字を知る。 ・ローマ字入力の方法を知る。

重点：本授業は、「見通しをもたせる導入」に重点を置いた。ローマ字入力の導入として、楽しく段階を追って練習することができる。「FMVキッズ」のキーボード練習をクラスルームに取り入れ、共有して練習できるようにした。

あおば学級 国語科「俳句に親しもう」(3年) スライド活用

目標：・冬休みの体験を五七五で表現することができる。

重点：本時では「ICT機器の活用」に重点をおいた。スライドを使用し、個別に作成した俳句を発表することができるようにした。写真やアニメーションをつけて子供同士が興味をもち、良いところを見つけられるようにしたい。

きらり学級 算数科「おおきいかず」「九九をつくろう」(1年・2年) navima 活用

目標：・何十たす何十の計算を考えよう。 ・九九の表から決まりを見つけよう。

重点：複数年での児童の個々の理解・思考に寄り添った指導に重点を置いている。ICT機器(今回はドリルソフト)を活用することで、個別指導の時間を確保するとともに、それぞれのペースで課題に取り組めるようにする個別最適化の学びを行う。

きらり学級 国語科「メディアと人間社会」(6年) ドキュメント、スライド 活用

目標：・文を読んで理解したことをもとに、自分の考えをもつ。

・事実と意見、感想などとの関係の叙述、接続語をもとにして押さえる。

重点：児童が苦手な書字の時間を少なくするために、ICTを利用している。児童の視線の移動を極力少なくし、提示する情報を制限してスライドの画面に、読み取りに必要なポイントを表示している。児童の実態に合わせて個別最適化した授業をデザインした。

外国語 Lesson3 She is a cook. [友達や家族の紹介] 校外学習事前学習 SNOOPY (5年) カメラ、スライド、Google フォーム 活用

目標：身の回りの物がある場所についてクイズを出し合い、楽しく物の名前やその場所を答えることができる。

重点：「価値ある対話の共有」と「認め合う・学び合う集団の形成」を重点として、授業を構成している。個々が準備した写真を使うことによって、主体的に伝え合う姿を目指し、よりよい伝え方をグループの友達と共有できることがゴールである。

図画工作科「コマコマ劇場」(6年) KOMAKOMA×日本文教出版 活用

目標：「アプリの使い方を学習して、身近にあるもので簡単な動画を作成してみよう！」

重点：本授業では、文教出版制作したアプリ「KOMAKOMA×日本文教出版」を使用して簡単な動画を制作する。本アプリを使用することで、どの児童も簡単にこまどりアニメーションを制作することができる。